

第30回子供禅の集い 報告



本日に無事、第30回子供禅の集いが圓成しました。

本日付けの上毛新聞社会面に、今回の禅の集いが紹介されておりますので、以下紹介いたします。

上毛新聞社会面（7月27日付）

高崎市吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で26日、「第30回子供禅の集い」が始まり、市内の小学生26人が禅寺の生活を体験している。集いは子供に禅に親んでもらおうと毎年開いている。27日までの一泊二日の日程で、初日は約20分間にわたって座禅を組み、足のしびれを我慢しながら精神を集中させた＝写真＝。夜は度胸試しや花火大会も行われた。参加した高崎岩平小3年の矢島睦大君（9）は「座禅は足の組み方が難しく、とても大変だった」と、「修行」を振り返った。